



2026年春 新人集合研修のご案内

株式会社GAKUSAI

 GAKUSAI



はじめに



拝啓 貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

貴社におかれましては、日頃より社員の能力開発に力を入れておられることと思います。

弊社が行う新入社員研修は、自ら主体的な仕事ができるよう「自ら学ぶ力」「やり抜く力」を養うことをテーマとし、現場でキャリアを積み上げていくために必要な資質を自ら獲得できるようなカリキュラムを用意しています。

これらのカリキュラムは、未経験者の方々が無理なく知識を吸収でき、自ら学べるよう最適化しております。

本資料をご高覧の上、ご興味ございましたら、お気軽にお声掛け下さいます様、宜しく願いいたします。

敬具

1. 新入社員の位置づけ

段 階		内定者 社会人への切替準備	新入社員 社会人の基本を身に付ける	若手社員 役割を果たす
テーマ	ヒューマン	・心構え ・社会人としてのコミュニケーションの取り方を知る	・会社の理念や価値観を知る ・社会人として自覚を持って行動する ・学ぶ姿勢を持つ ・先輩や上司との関係を築く	・働く意味・仕事の意味を考える ・自ら学習する ・自ら行動する
	ビジネス	・PC操作を知る ・タッチタイピングができるようになる	・ビジネスマナーを知る ・仕事の段取りを考える ・職場の運用・機能・役割を知る ・業界を知る	・確実に業務を遂行する ・成果を出す ・期待に応える
	テクニカル	・コンピュータの概要を知る	・コンピュータの基礎を固める ・業務に必要なツールの使い方を理解する ・開発の進め方を知る ・専門分野の基礎を固める	・専門分野の応用力を高める ・専門分野を業務に活かす

2. カリキュラム内容

NO	コンテンツ	ツール・環境など	内容
1	ビジネスマナー		電話応対、名刺交換
2	プレゼンテーション	PowerPoint	3分間スピーチ、キーワードプレゼン、成果発表会
3	ビジネス感覚	Word	新聞購読、ビジネス文書、日報、納期厳守
4	資格取得	LMS	基本情報技術者試験(科目A免除)、JavaBronze、JavaSilver
5	Java基礎	Eclipse	講義、レベル別Web演習、理解度テスト、復習・補講(e-learning)
6	HTML/CSS/JavaScript基礎	W3C統合検証	講義、レベル別Web演習、理解度テスト、復習・補講(e-learning)
7	SQL基礎	MySQL	講義、レベル別Web演習、理解度テスト、復習・補講(e-learning)
8	Webアプリケーション	Tomcat	講義、レベル別Web演習、理解度テスト、復習・補講(e-learning)
9	システム開発入門	Excel、draw.io	品質管理、セキュリティ、UML、DB正規化
10	ワークショップ	GitHub	要件定義～納品

3. 6つの特徴

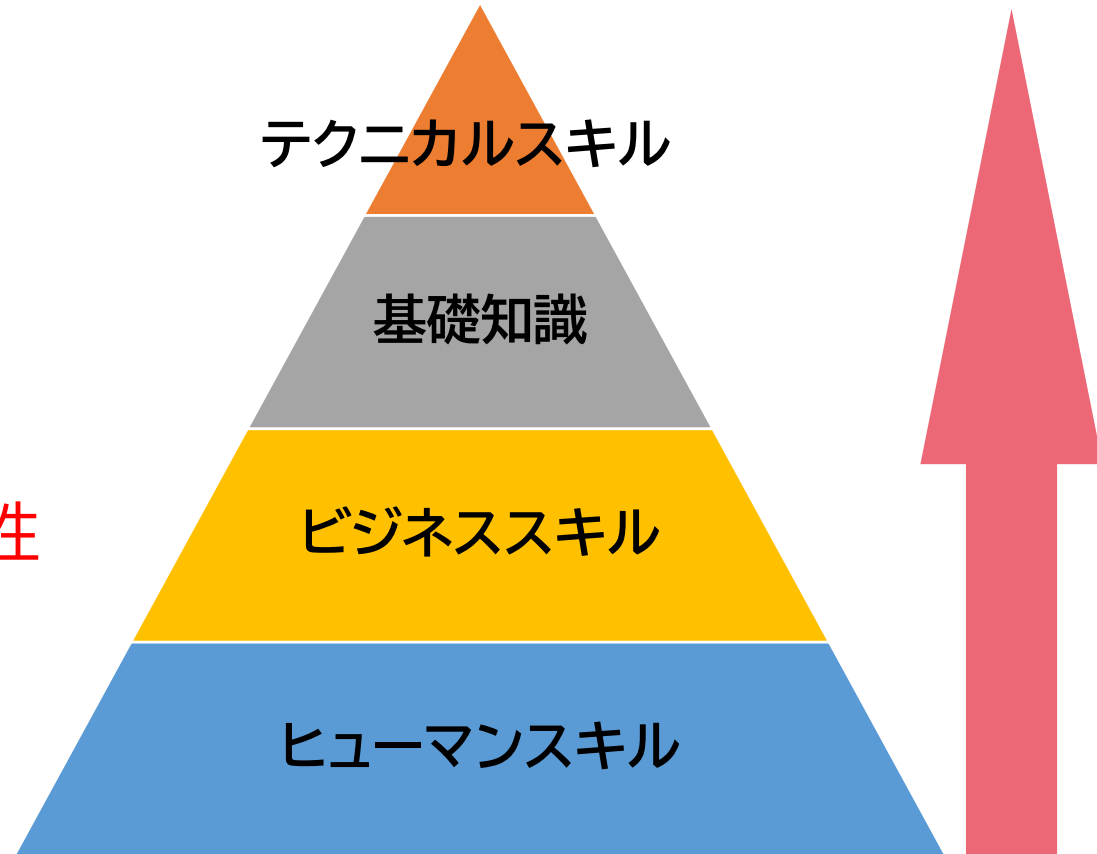
弊社の新入社員研修の特徴は6点あります。

- ✓ 自立型人材を育成します
- ✓ 納期、品質、目標達成など、社会人としての基本姿勢を学びます
- ✓ 即戦力となるテクニカルを徹底的に教え込みます
- ✓ 2つの研修スピードが用意されています
- ✓ 3つの資格取得を目指します
- ✓ 15ヶ月間継続的にテクニカル面、メンタル面をサポートします

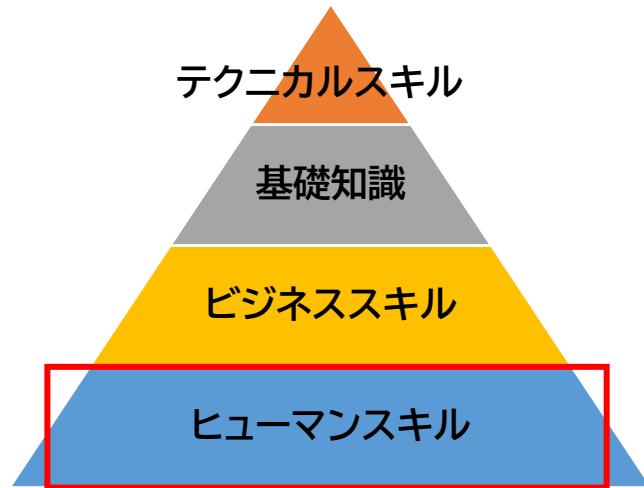
4. 自立型人材のためのマインド形成

「時間や品質に対する厳しさ」や「お客様へのサービス精神」といったSEに必要なマインドを形成し、『**自立型人材**』を育成します。

- 社会人としてのモラル
- 人間関係を築ける
コミュニケーションスキル
- 基本となる技術・知識
- やり抜く強い意思と継続性
- 自ら考え行動する自立性



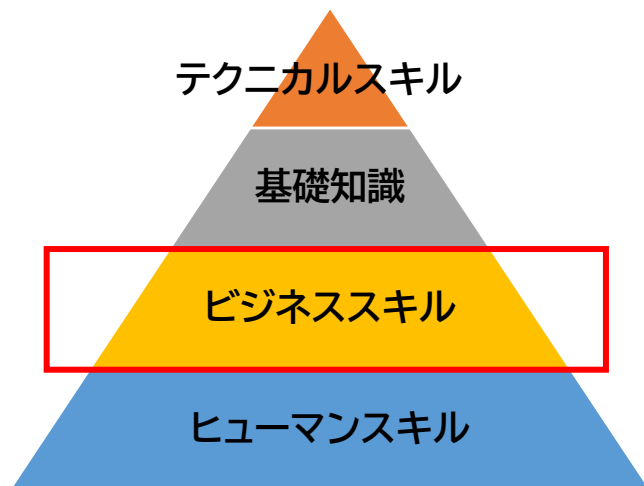
5. ヒューマンスキル



健康な精神は、自分のみならず、周りへ良い影響をもたらします。精神的に健康であることがいかに大切であるかを学び、精神力の強い人財への第一歩とします。また、仕事をする上で避けて通れない人との関わりをスムーズにする為の方法を学びます。

科目	科目内容
目標設定	目的意識・目標意識を持って仕事に取り組む姿勢を身につける
ワークライフバランス／メンタルヘルス	仕事と生活のバランスを見出すとともに、自己のメンタルヘルスに留意しながら生産性の高い仕事を行う資質を身につける
コミュニケーション／アサーション	お互いを尊重しながら率直に自己表現ができるようになる方法を身につける
フォローアップ	講師は年間を通して、テクニカル指導やメンタル面の相談役として継続してサポートする

6. ビジネススキル



社会人としてのマナーを学び、
仕事をする上で必要となる基本動作・考え方や
報連相の基本に身につけます。

研修の序盤だけ実施するのではなく、研修中
毎日指導いたします。

科目	科目内容
パソコン操作	PC・ファイル操作・タッチタイピングなど、パソコンの基本操作を修得する
ビジネスマナー	名刺交換や電話応対、報連相など、仕事をする上で必要となる基本動作を身に付ける
プレゼンテーション	人に効果的な説明をする資料作り、人前で話しをするコツ・テクニックを学ぶ
キーワードプレゼン	ITトレンドの用語を修得する

7. IT業界を知る キーワードプレゼン

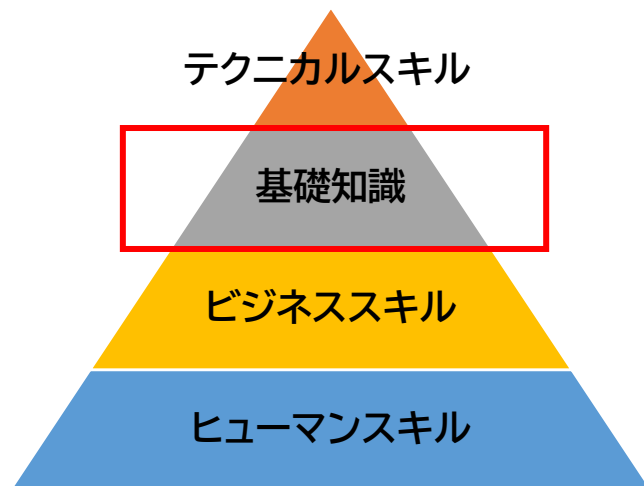
IT用語を選択し、自分で調べ1つのキーワードを15分間で発表するスタイルです。
受身の学習から自分で調べて学ぶという習慣を身につけることができます。
1人が担当するキーワードは1つでありながら、全てのキーワードを学習でき、さらに
プレゼンテーションや資料作りに対するスキルアップの効果が狙えます。

以下は一例で、キーワードは毎年変更されます。

- Docker
- GitHub
- フィンテック
- BLE
- LPWA
- サイバーインテリジェンス
- ブロックチェーン
- IoT
- 機械学習
- クローリングとスクレイピング
- オフショア開発



8. 基礎知識を身につける



コンピュータの基礎(基本情報処理レベル)からシステム開発に必要なスキルを身につけます。

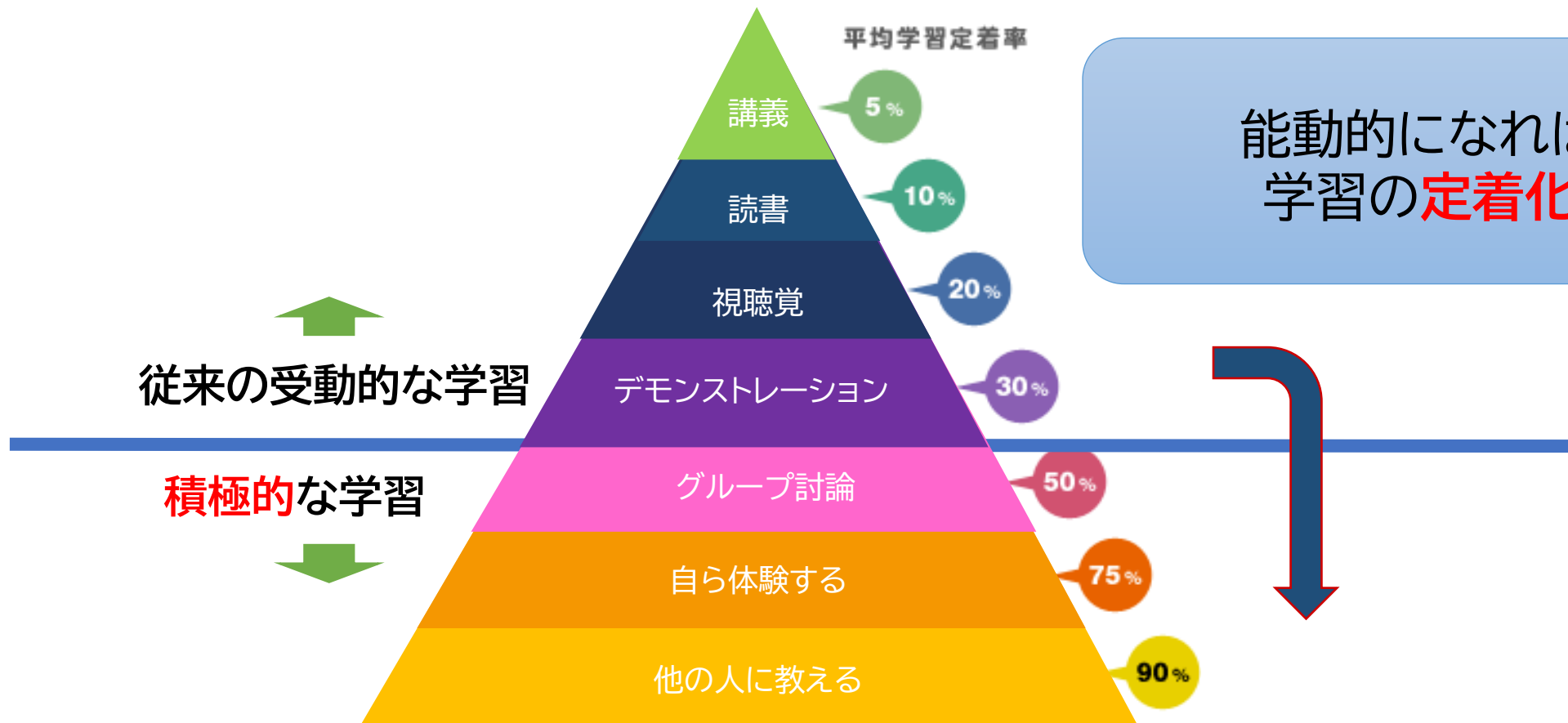
能動的に学習を行い、**知識の定着化(アクティブラーニング)**に結びつく研修を行います。

科目	科目内容
コンピュータ基礎	タッチタイピング、コンピュータの基本操作を修得する 基本情報技術者試験合格を目指す
プログラミング基礎	Javaの基本文法の理解、オブジェクト指向に沿ったクラスの利用等、プログラミングの基礎を修得する
HTML基礎	HTMLタグとFormやJavaScript、CSSの基礎を修得する
SQL基礎	データベースを操作するためのSQL言語の基礎を修得する
Webアプリケーション	JSP・Servletを修得し、画面やデータベースと連携する仕組みを理解する

9. アクティブラーニングを採用

ラーニングピラミッドとは？

教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称で、「思考を活性化する」学習形態をさします。



能動的になればなるほど
学習の**定着化**が図れる

ラーニングピラミッド

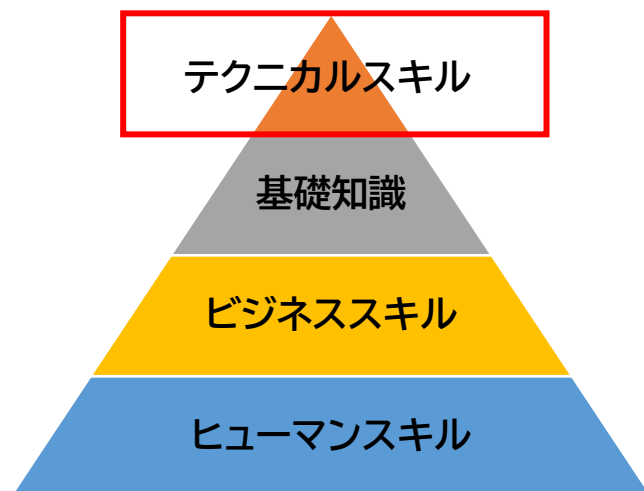
※出典: The Learning Pyramid. アメリカ National Training Laboratories

9. アクティブラーニングを採用

アクティブラーニング(「思考を活性化する」学習形態)の主な取組みは以下の通りです。

項目	内容
e-learning	副教材としてe-learningを提供しており、自分でわからないところを何度も復習することができる
3分間スピーチ	新聞・ニュースから自分でテーマを選定し、3分間で発表する
小テスト	毎日小テストを実施し、理解度をチェックする
グループディスカッション	講義終了後、毎回グループディスカッションを行う
演習	100問マラソン、30問トライアスロンなど数多くの演習問題を解き、理解度をチェックする。レベルが3段階に分かれており、自分の理解レベルに沿ってすすめる。基礎知識が到達目標に達しない場合、次ステップへは進まず、到達するまで課題を解く
振り返り	目標について評価する。 ワークショップでは、KPTを導入し、より良いプロジェクト活動を目指す。
キーワードプレゼン	日経コンピュータなどの情報誌からIT用語を自分で調べ発表する

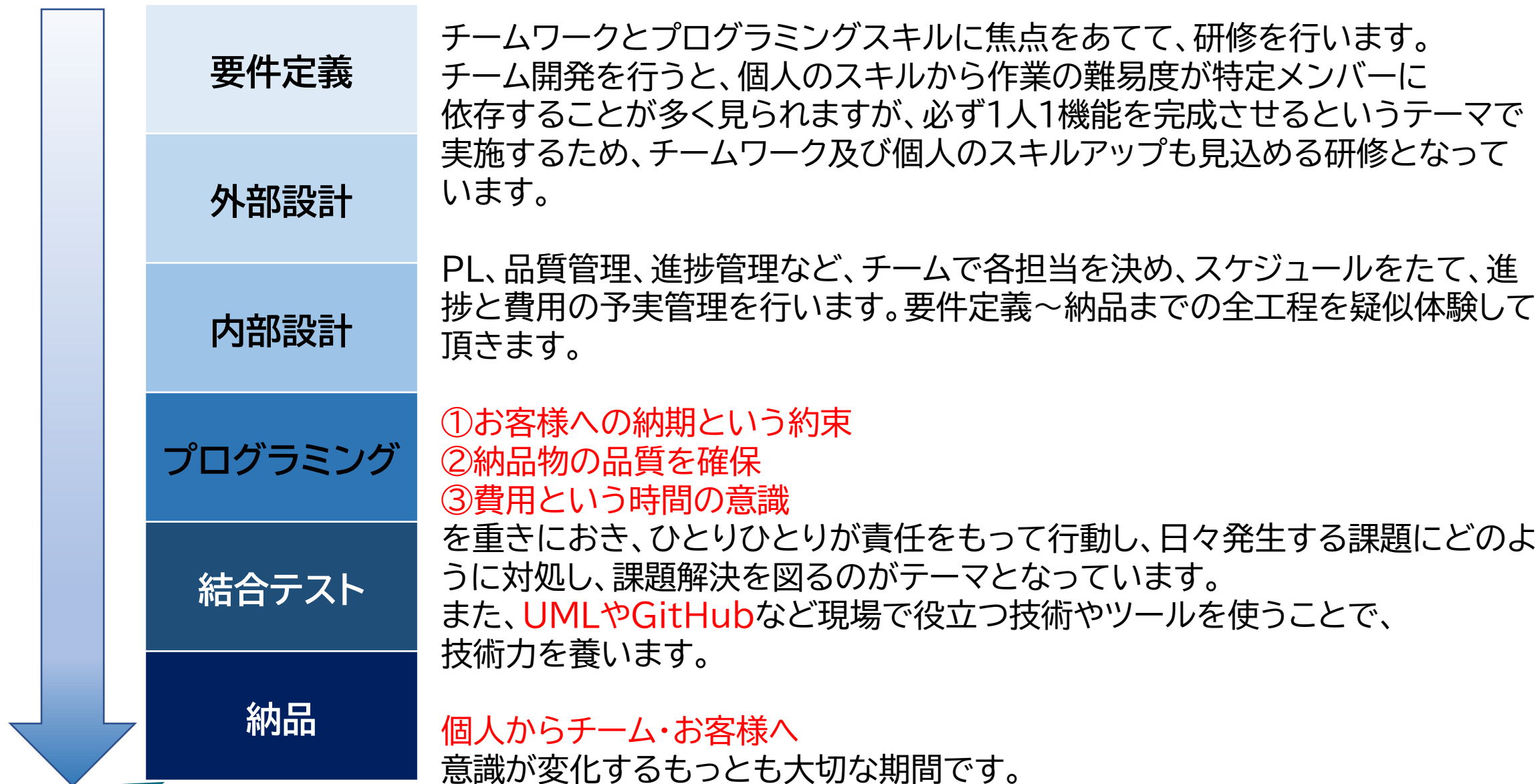
10. テクニカルスキルを身につける



システムエンジニアとして知っておくべき開発技術、高品質かつ効率の良いプログラミング技術をワークショップ（プロジェクト疑似体験）を通して**実践的**に身に付けます。

科目	科目内容
品質管理	システム開発での品質管理とは何かを理解し、テスト技法を修得する
設計技法	データベース技法やUML図の書き方理解し、設計書の作成方法を修得する
ワークショップ (次頁参照)	プロジェクトの計画策定を行い、要件定義～システムテスト、納品・検収までを実施する

11. プロジェクト疑似体験

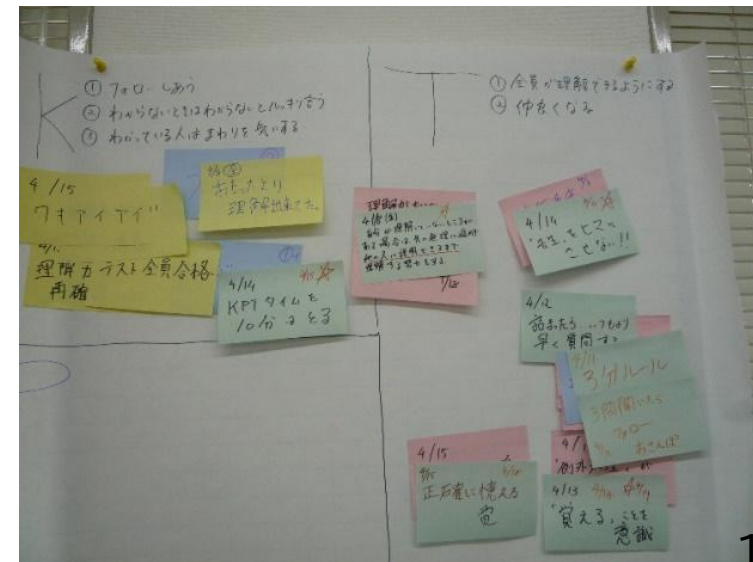


11. プロジェクト疑似体験

「良いところ(Keep)」は継続し
「改善の必要なところ(Problem)」は
「対策／次に試したいこと(Try)」を考え、
より良いプロジェクト活動を目指すためのフレームワークです。

KPT採用！！

仕事やチーム活動をその場限りのものにせず、進め方が良かったかどうか、品質の良い成果物が作成できたかどうかなど、常に改善する意識を持たせる事ができます。また、このようなフレームワークを活用することで、可視化され効率よくプロジェクトを進めることができます。



12. 知識定着を図る

基礎固めの道

演習問題を一から解きなおし不明な点を徹底的に解消していきます。講師より合格をもらい次第、ワークショップへ参画します。

システム開発の道

システム開発の実際の工程を体験します。プロジェクトの計画策定を行い、要件定義～システムテスト、納品・検収までを実施します。

**基礎知識の到達目標に達しない場合
ワークショップへは進まず
基礎をみっちり修得します**

13. 中間報告・最終報告



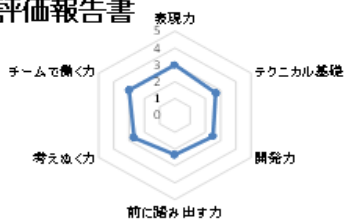
新人研修 最終評価報告書

記入日
会社名
氏名

資格受験 JavaBronze
合格/率 不合格/40%

資格受験 FE科目A免除
合格/率 合格/83%

ワークショップの役割 教育・打合せ



テクニカルスキル・ビジネススキル		社会人基礎力	
表現力	3.0	前: 2.33	後: 2.33
文章	3	主体性	3
スピーチ・プレゼン	3	働きかけ力	2
テクニカル基礎	2.7	実行力	2
コンピュータ基礎	3	考えぬく力	2.67
アルゴリズム	2	課題発見力	2
Java基礎	3	計画力	3
データベース(SQL)	3	創造力	3
HTML	3	チームで働く力	3
Webアプリケーション	2	発信力	4
開発力	2.5	傾聴力	3
読解力(仕様理解度)	3	柔軟性	3
スピード(マスタメンテ機能)	3	状況把握力	3
品質	2	規律性	3
工夫	2	ストレスコントロール力	2

強み

- 1) 真面目に黙々とひとつのことに集中して取り組むことができます。
- 2) 穏やかな性格で周りを和ませてくれます。
- 3) ひとつのことにじっくり時間をかければ、自分のものにすることができます。

弱み

- 1) 一人で悩みすぎる面があります。
- 2) 細かな部分に気が回らず、ケアレスミスが目立ちます。

研修所感

真面目で集中力があり、一つのタスクに黙々と取り組むことができます。じっくりと時間をかけることで、タスクを完遂する能力を持っています。また、穏やかな性格で周囲を和ませることができます。話術に長けており、くったくのない笑顔で、他者と心地よいコミュニケーションをとることができます。

プログラミングに関しては、演習を通じて徐々に理解を深めながら、進めていきました。分からないことを放置せず、自己解決しようとする姿勢を持っています。細かな部分に気が回らず、ケアレスミスが目立ちます。初めの段階ではSOSを発信することが少なかったものの、関係性が築かれるにつれて改善が見られました。

ワークショップでは、途中から打ち合わせの主担当となり、要件定義の進行において重要な役割を果たしました。この活躍により、これまで停滞していたプロジェクトが前進しました。ただし、他の人の意見に流されやすく、自分の意見を発言することが少なく、一人で問題を抱える傾向があり、どのようにすればいいかわからず、間違っていると知りながら、そのまま改善せずに作業を進めてしまいます。

目標に向かって努力する姿勢がありますので、丁寧に少しずつ細かい目標設定をしてあげると、安心して取り組むことができると思います。今後は積極性を身につけることで、さらに自己成長を遂げることが期待されます。

これまで開発に携わってきたSEが講師を担います。経験を積んだスタッフが講師をすることで**現場主義**の考え方でご指導致します。研修を通して、社員の方々がどのように成長されたかをおひとりずつ報告書として提出いたします。



2023年度新入社員研修 中間報告書

会社名 :
氏名 :

保有資格 : なし
事前情報 : G、PHP、SQL、HTMLとCSS(授業で習う程度)

内定者研修									
出欠	1/13 O	1/20 X	1/27 X	2/3 X	2/10 X	2/17 X	3/3 X	3/10 X	3/17 O
タッチタイピング練習 (3,000円コース) 3,000円									(5,000円コース) 5,000円
eラーニング 『基本情報技術者試験科目A免除』	実施なし								実施なし
eラーニング 『Web-RS&D』	入社前の事前学習								・コミュニケーションとは

研修への取組み姿勢と評価

【ヒューマン・ビジネス系研修】

3分間スピーチ
人前で話すことがあまり得意ではありませんが、進んで発言しようという姿勢が見られます。話し方や適度なジェスチャーを覚えられるとよりよくなるでしょう。
キートンプレゼン
1番目というプレッシャーがありながら、笑顔ではきはと話していました。また、専門用語をできる限り使わないように意識できており、わかりやすいプレゼンでした。

ビジネスマナー

レポート参照

個人面談

- ・研修が進むスピードが本当に速かった
- ・ちゃんと日本語が通じないことへの不安
- ・プログラミング頑張りたい

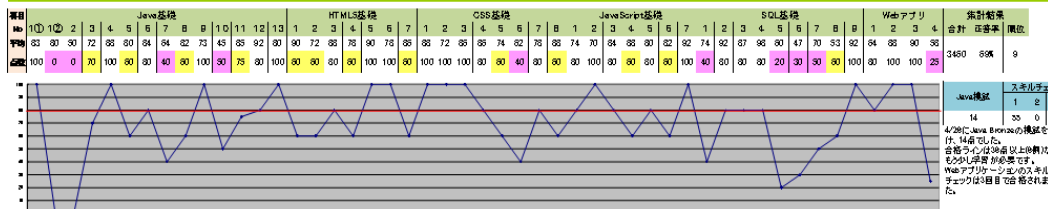
【テクニカル系研修】

学生時代に授業で学んだ程度で、ほとんどプログラミング経験がない中、経験者レベルの演習問題に懸命に取り組んでいました。
アルゴリズムはある程度自力で組み立てられ、プログラミングできます。
加えて、課題では扱っていないことや未知のエラーに遭遇しても、時間をかかるとの自力で調査し、自分のプログラムに取り込むことができます。

【日々の生活】

どちらかというと人見知りなタイプで、時間をかけて周りのメンバーと打ち解けていく様子が見られました。研修当初はお一人で抱え込んでしまいがちでしたが、中盤ごろから周りのメンバーと積極的にコミュニケーションを取り始め、分からないことがあれば自ら進んで質問できるようになりました。

小テスト結果



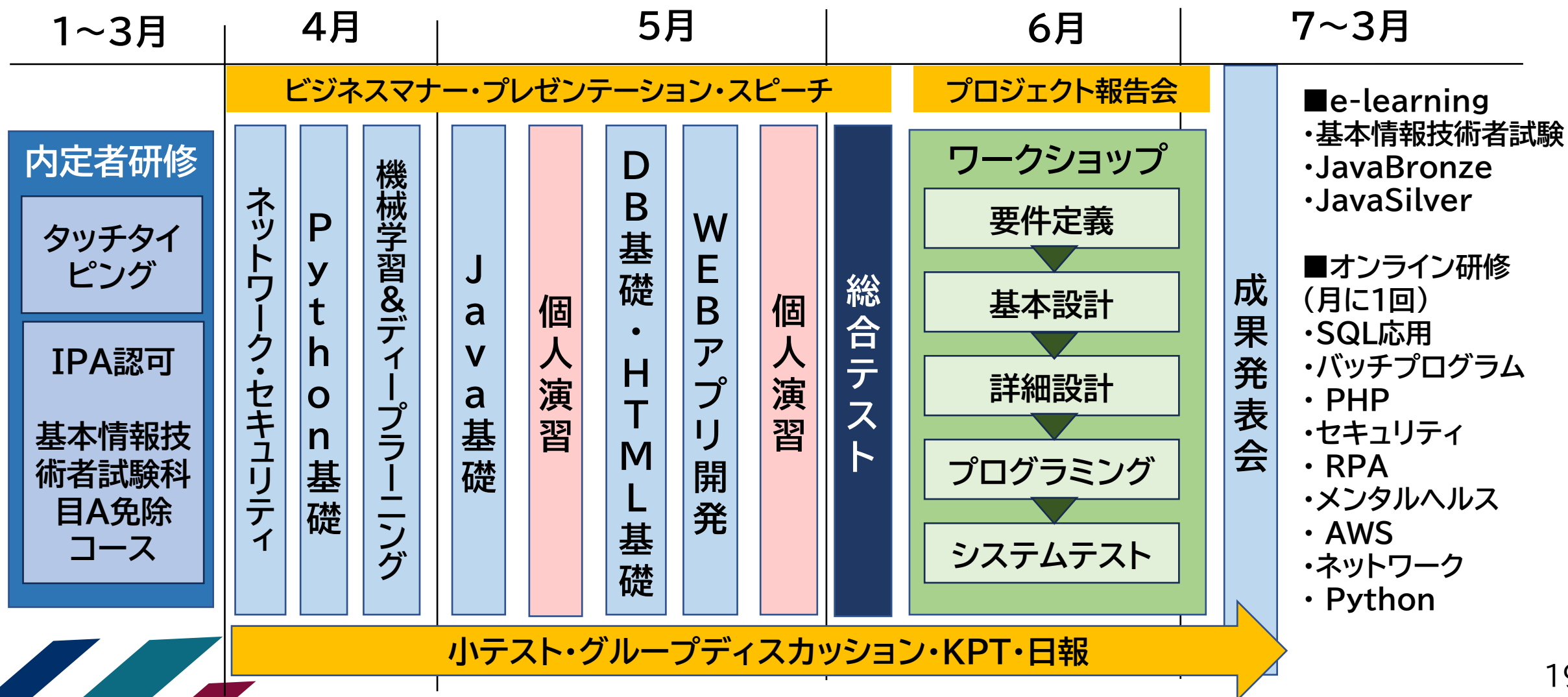
14. 3つの資格取得にチャレンジ

以下の資格取得を目指します！

	JavaBronze	JavaSilver SE11	基本情報技術者試験
試験時間	65分	180分	科目A:90分 科目B:100分
出題数	60問	80問	科目A:60問 科目B:20問
合格ライン	60%	63%	科目A:60% 科目B:60%
受験料(税込)	¥14,630	¥37,730	¥7,500

15. スケジュール

ワークショップは要件定義から実施する高度なIT研修です！
3か月目にはPythonを使ったAI技術を学習します。



16. 価格 ※中小企業

人材開発助成金を活用すると、ご負担額を最小限に抑えることが可能です！

研修費用にはPCレンタル費用が含まれております。
お客様にてPCをご準備いただける場合はご相談ください。

例：人材育成支援コース(人材育成訓練正社員)で申請する場合 [/名(税込)]

コース名	時間	研修費用	助成金 (経費+賃金)	ご負担額
プログラマー養成（AI）コース	164	¥385,000	¥270,530	¥114,470
プログラマー養成（Java）コース	176	¥495,000	¥359,550	¥135,450
エンジニア養成（Java）コース	184	¥495,000	¥362,590	¥132,410
合計	524	¥1,375,000	¥992,670	¥382,330

17. 助成金

ご利用いただける助成金は以下の通りです。お気軽にご相談ください。

1. 人材開発支援助成金

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

- 人材育成支援コース [詳細版パンフレット](#) R7.4.1～
- 人への投資促進コース [詳細版パンフレット](#) R7.4.1～

2. キャリアアップ助成金

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/part_haken/jigyounushi/career.html

- 正社員化コース [詳細版パンフレット](#) R7.4.1～